

1. 科目名 (単位数)	教育課程論 (初等) (2 単位)	3. 科目番号	EDTE1103 SJTC3411
2. 授業担当教員	大島 聡		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	なし		
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容を児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことの意義や編成の方法を理解するとともに、各学校の実情に合わせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解する。		
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題			
10. 教科書・参考書・ 教材	松尾知明著「新版 教育課程・方法論 ―コンピテンシーを育てる学びのデザイナー―」学文社		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1 教育課程の意義について理解し、説明できるか。 2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できるか。 3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。		
12. 受講生への メッセージ			
13. オフィスアワー	授業中に指示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	教育課程の目的として育成が目指される資質能力についての考え方の変化を理解する。	事前学習	教科書第 1 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 2 回	教師の役割の一つとして、学びのデザイナーという考え方を取り上げる。学びのデザインとは何か。	事前学習	教科書第 2 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 3 回	教師が自分でカリキュラムをデザインしようとする時に考えなければならないことは何か。	事前学習	教科書第 3 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 4 回	授業をデザインする時の基本的な考え方。	事前学習	教科書第 4 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 5 回	日本におけるカリキュラム≒教育課程の基本的枠組みを知る。	事前学習	教科書第 5 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 6 回	教育課程の基準となる学習指導要領の変遷を通してその性質を理解する。	事前学習	教科書第 6 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 7 回	2017 年に改訂された新学習指導要領のポイントを知る。	事前学習	教科書第 7 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 8 回	カリキュラムマネジメントとは何をすることか。	事前学習	教科書第 8 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 9 回	カリキュラムマネジメントをしてみよう。	事前学習	教科書第 9 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 10 回	学校で教師が行うことになる単元指導計画の作成をカリキュラムマネジメントの視点から見てみよう。	事前学習	教科書第 10 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 11 回	パフォーマンス課題とは何か。なぜ必要なのか。	事前学習	教科書第 11 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 12 回	学力とは何か。その構成要素は何か。	事前学習	教科書第 12 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 13 回	アクティブ・ラーニングとは何か。何をすることか。	事前学習	教科書第 13 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 14 回	アクティブラーニングを実現するための ICT や教材を考える。	事前学習	教科書第 14 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
第 15 回	これからの評価のあり方を考えよう。	事前学習	教科書第 15 章を読む。
		事後学習	演習課題に自分で取り組む
期末試験			